

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける宿泊などに弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、化学・石油製品や輸送機械に弱さがみられるものの、汎用・生産用・業務用機械や電子部品・デバイスが好調に推移していることから、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、有効求人倍率が上昇するなど緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡
生産活動	持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	➡
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	➡
住宅建設	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ **個人消費** 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、衣料品が低調であるものの、食料品が堅調であることから、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、繁華街や観光地周辺の店舗において客足の落ち込みがみられたものの、客足は戻りつつあり堅調である。ドラッグストア販売は、食料品や衛生用品を中心に堅調である。ホームセンター販売は、DIY関連商品や園芸用品を中心に堅調である。家電大型専門店販売は、高機能商品の需要が続いており堅調である。乗用車の新車販売は、供給面での制約により弱含んでいる。宿泊は、感染症の影響により弱含んでいるものの、足下では助成事業の効果もあり持ち直しの動きがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 1月中旬以降、来店客数が減少し、衣料品や化粧品を中心に大きく落ち込んだ。感染症の落ち着きから3月以降、来店客数は持ち直している。(百貨店・スーパー)
- 外出控えにより家庭内需要が強くなったことでまとめ買いの傾向がみられ、総菜、冷凍食品、酒類などの食料品の売上が伸びた。まん延防止等重点措置の解除以降も引き続き堅調。(百貨店・スーパー)
- 感染拡大の影響で駅前や繁華街に立地している店舗を中心に来店客数の減少が続いた。まん延防止等重点措置解除後は持ち直している。(コンビニエンスストア)
- パソコンはテレワーク需要の落ち着きから弱い動きとなっているものの、冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどの主要製品については、高機能商品への買い替え需要もあって例年と比べると高い水準を維持している。(家電大型専門店)
- 3月は年度末決算セールもあり受注は好調だったが、半導体不足や3月の福島県沖地震による工場稼働停止の影響でメーカーからの供給が遅れており、受注残がさらに積み上がっている。(自動車業界団体)
- まん延防止等重点措置を受けてキャンセルが相次いだが、解除後は助成事業の効果に卒業旅行や春休みシーズンの需要が加わり、宿泊者数は回復傾向にある。(宿泊業界団体)
- まん延防止等重点措置期間中は街中の人出が減少しており客が入らないため、協力金を受け取って休業の選択をする店が多かった。解除後も感染者数が高止まりしているため、期待していたよりも客の入りが少ない。(飲食業界団体)

■ **生産活動** 「一部に弱さがみられるものの、持ち直している」

食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイス、車載向けや民生向け部品を中心に好調に推移している。化学・石油製品は、一部で減少している。汎用・生産用・業務用機械は、部材不足の影響がみられるものの、半導体製造装置を中心に好調に推移している。輸送機械は、半導体不足により自動車及び同部品が減少している。

- 豚肉の生産は高水準で推移しているものの、内食需要は、当社商品を含む食料品全般の値上げの影響で買い控えの動きがみられる。(食料品等)
- 高価格スマートフォンの市場が縮小し単価が低下傾向にあるが、スマートフォン向け電子部品の生産は引き続き堅調。(電子部品・デバイス)
- 中国向けの需要に落ち着きがみられる中、1月の地震によりプラントの一部が停止したことに加え、2月末から定期修繕に入ったことから、稼働率が低下している。(化学・石油製品)
- 世界各地で半導体メーカーの投資計画が拡大傾向にあり、半導体製造装置の受注は好調に推移しているものの、年明け以降部材不足が深刻化し、生産への影響がみられる。(汎用・生産用・業務用機械)
- 1月以降、世界的な半導体不足を背景に自動車部品の納入が遅れ、再度減産を余儀なくされている。(輸送機械)

■ **雇用情勢** 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

感染症の影響がみられるなか、有効求人倍率は緩やかに上昇している。新規求人数は医療・福祉、職業紹介・労働者派遣業、宿泊業・飲食サービス業を中心に前年を上回っている。

- 夜間など人手が不足する時間帯にスポットでパートの募集をしている。時給を上げているが応募状況は芳しくない。(医療・福祉)
- 正社員、パート・アルバイトともに人手不足で、ハローワークを通じて募集してもなかなか集まらない。募集をしても、人と接触する機会の多い接客業であることから敬遠されがちである。(宿泊業)

■ 設備投資 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1～3月期

- 製造業では「自動車・同附属品製造業」などで減少見込み、「情報通信機械器具製造業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では「宿泊業、飲食サービス業」などで減少見込み、「運輸業、郵便業」などで増加見込みとなっており、全体では増加見込みとなっている。

- スマートフォン向け電子部品の増産に向けた開発ラインの整備や生産設備拡充。(情報通信機械器具製造業)
- 現行船の老朽化に伴い新船を建造。(運輸業、郵便業)

■ 企業収益 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1～3月期

- 製造業では、「自動車・同附属品製造業」などで減益見込み、「生産用機械器具製造業」などで増益見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売業」などで減益見込み、「宿泊業、飲食サービス業」などで黒字転化見込みとなっており、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1～3月期

- 4年1～3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。
先行き(全産業)をみると、4年4～6月期は「下降」超の見通しとなっている。

■ 住宅建設 「持ち直しつつある」

- 新設住宅着工戸数(3年12月～4年2月)をみると、持家及び貸家は前年を下回っているものの、分譲は前年を上回っている。

■ 公共事業

- 公共工事請負金額(3年度末累計)をみると、前年度を上回っている。

■ 農業

- 野菜の農協共販量をみると、1月、2月は前年を下回っている。野菜の販売単価をみると、1月は前年を下回り、2月は前年を上回っている。
- 牛のと畜頭数をみると、1月は前年を上回り、2月は前年を下回っている。牛の枝肉卸売価格をみると、1月、2月は前年を下回っている。
- 豚のと畜頭数をみると、1月、2月は前年を上回っている。豚の枝肉卸売価格をみると、1月、2月は前年を上回っている。

■ 倒産

- 企業倒産(4年1～3月期)は、件数は前年を下回り、負債金額は前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(4年1月判断)	今回(4年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
熊本県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける宿泊などに弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、輸送機械に弱さがみられるものの、汎用・生産用機械や電子部品・デバイスが堅調に推移していることから、回復している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、有効求人倍率が上昇するなど緩やかに持ち直している。
大分県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、観光関連などにおいて持ち直しつつある。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械などに弱さがみられるものの、非鉄金属・金属製品を中心に堅調に推移しており、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
宮崎県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、生産活動は、化学工業や食品製造業を中心に緩やかに持ち直しつつあるほか、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売や宿泊・観光面で客足が戻ってきており、持ち直しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。